

# ふれあいわたり

令和3年3月30日

No.50

50号創刊記念号

渡里地区歩く会

11/23  
(月)



いつもの感じと違います。



田野鹿島神社参拝



参加者全員集合「さあ・出発出発」



密を避け歩いています。

「コロナ禍の中で  
行った「歩く会」

河野 文雄

令和2年11月23日、渡里住民の会スポーツ部会と生涯学習部会との合同で、「歩く会」を行いました。

例年であれば、小さなお子様から年配の方まで多数参加されておりましたが、今年はコロナ禍の為密集・密接を避け、参加人数を40人程度とし、なるべく飛沫を飛ばさないよう気をつけながら、渡里市民センターから田野町の緒川ダムまでの9キロの道のりを一昨年に続き歩きました。

又、水戸市民運動公園・田野球場南側の丘にある鹿島神社（元禄十二年徳川光圀の寺社改革の命により八竜神社を合祀し以降村社となる）で、松本宮司と小菌江康則氏子総代長によるお話を聞き又、コロナ収束を願いながら次の目的である浜見台霊園に向かい、そこで密を避けながらゲームを  
行い帰路につきました。

来年はいつもの「歩く会」が出来る事を願います。





# 広報紙創刊50号記念

## 地域活動の積み重ね



住民の会  
会長  
大槻 勢次

この度、広報「ふれあい  
わたり」が、記念の50号と  
なりました。これまで、多  
くの諸先輩方が築いてこ  
られた、地域活動の足跡が積  
み重なった結果であり、大  
変うれいと思う反面、こ  
れからの「ふれあいわた  
り」が、ますます愛される

広報となるよう、紙面の充  
実を図っていかねければな  
らないと思っております。  
さて、今年度も残りわず  
かとなり、活動を振り返っ  
て思うことは、「ふれあい  
渡里まつり」などいくつか  
の行事は、コロナ対策を  
実施して無事に開催するこ  
ができましたが、活動の基  
本である顔を合わせ話をす  
ることが、こんなに難しく

大切なんだと改めて思い知  
らされました。

来年度の活動状況も、今  
は全く先が読めませんが、  
今年度の経験を生かし、状  
況に応じた柔軟な対応をし  
てまいりたいと思ってお  
ります。

地域の皆様には、これか  
らも当会の活動に對しまし  
て、ご理解ご協力を賜りま  
すようお願いいたします。

## 創刊号の思い出から未来へ



創刊号  
編集委員  
小泉不二夫

26年前の平成7年3月1  
日創刊について水戸市、公  
文カレッジにより渡里地区  
生涯学習推進委員会が発足  
し、当時の実践会第一から  
五部会より7名が選出され  
編集しました。  
「ふれあいわたり」の名  
称は仮称にしました。題字

は、吉野幸一氏、印刷は千  
歳印刷にて白黒B5版でし  
た。記事の中に渡里小児童  
の標語「ごみひとつ ひろ  
うことからまちづくり・地  
球はみんなの宝物 共に生  
きよう輝く命を」が掲載さ  
れており、現在国連により  
持続可能な開発目標SD  
Gsの達成、脱炭素社会に  
向け「誰一人取り残さな  
い」精神に通じます。

編集委員のやる気や前向  
きな考えと寄稿者の協力で  
苦勞よりも楽しく出来た喜  
びが思い出です。

住民の会・高齢者クラブ・  
女性会・子供会・PTAの  
連携により希望に満ちた地  
域活動や趣味を生かし、生  
涯学習を通して未来を考え  
生涯学習部長やPTA会長  
の経験と繋がりをいかして  
地域のみなさんと安全で安  
心して住める街づくりに貢  
献して参りたいと思います。

## ふれあい渡里 まつり 12/5(土)・6(日)



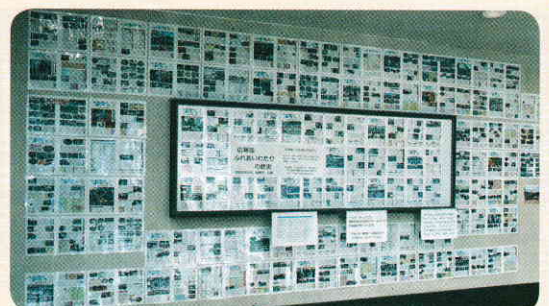
真剣に手作り教室  
ブローチ完成



農家さんの新鮮野菜販売

コロナ禍の中で  
開催

渡里住民の会が  
主催する第32回  
「ちっちゃなふれ  
あい渡里まつり」  
が12月5日(土)  
午後1時から午後  
3時までと、翌6  
日(日)の午前9



広報紙展示

例年と比較すると一桁少  
ない参加者となりました。  
しかし、今後も続くであ  
らう「コロナ禍」の影響の中  
で手探り状態だったことも  
あり、現時点で考えられる  
対策を行った上で、開催を  
できたことが最大の成果と  
なりました。  
地域の協力者諸団体によ  
るバックアップを得ること  
ができました。  
地域内にある渡里小学  
校、水戸第五中学校、茨城  
大学土屋ゼミからは、児童  
や生徒、学生らの制作した  
作品や発表もしていただき  
ました。



# 広報紙 50号の 記録

「ふれあいわたり」は発刊以来各号が保管されていたはずだったのが、いざ調べたところ創刊号から10号までがありませんでした。  
幸い二人の方から快く提供して頂きましたので、その中から特徴のあるものを選び掲載いたしました。

平成7年3月1日



平成11年3月31日



平成17年3月31日

ふれあい渡里まつり (2月19日(土) // 20日(日))



呼吸がピッタリ合ってますね。(社交ダンスクラブ)

平成27年3月15日



平成31年3月31日



渡里小学校で水戸市炬火イベント行われる



渡里地区防災訓練 9月1日(土)

平成22年10月15日

平成18年3月31日



台風19号襲来

田野川決壊・那珂川越水

10月12日未明より13日



▲ 令和元年11月30日 ▶

## 生活環境部会

花とかがわってやさしい気持ちになれる

生活環境部

今年から、花苗配付の農場が河和田の『はげみ』に代わりました。

生活環境部は主に、花苗の区割りと配布・苗取りのお手伝いをしています。

さらに、市民センターの花植もしています。

「はげみ」での苗取りのお手伝いでは、地区の方たちとお話をしながら楽しく交流ができました。

苗の成長は天候に左右される為、小さい苗の時は、「元気で育てよ」と祈る気持ちです。

花壇審査で訪れた時、手入れが行き届き、色どり良く工夫されている花壇を見た時、優しい心になります。



花苗農場はげみ



花苗配布・引き取り



花苗の植付け

※ 渡里地区の人口と世帯数 令和3年2月1日現在 総人口 14,347人(男7,249人 女7,098人) 世帯数 7,546世帯



# 水戸市社会福祉協議会渡里支部

## お菓子と絵手紙で

### 笑顔のふれあい

福祉委員 篠原 和美

渡里住民の会と社協の協賛事業の一つとして、11月下旬に一人暮らしの高齢者の皆様を訪問し、お菓子と絵手紙をお届けしました。

コロナ禍で外出や人との接触が制限される中、不安な思いや寂しい気持ちで生活されている方も多く、訪問を大変喜んでくださいました。

「顔を見に来てくれてありがとうございます。お菓子を食べて元氣を出して頑張るよ。」  
「一枚一枚描くのは大変でしょう。絵手紙は壁に貼って大事にしますよ。」  
等々、笑顔でお話が弾み、訪問した私の方が元氣をいただきました。これからも、どうぞお元氣で!!



◀一人暮らしの高齢者の皆様にお菓子と絵手紙をお届けしました。▶



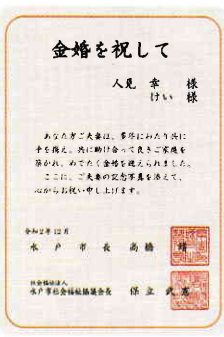
## 金婚式を迎えて

人見 幸



コロナ禍の影響で式典は中止になり、写真館での記念撮影のみになりました。私たちが結婚した昭和45年は、大阪万博が開催された事で、日本の発展を世界に示した年でした。  
私は10年前大腸癌の摘出手術をしましたが、幸い安定した毎日を過ごしています。

妻も、市民センターでの吹矢と健康ヨガに参加し元氣で穏やかな日々を過ごしています。



## コロナ禍における市民センターの運営について

令和2年度は、当初から新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、消毒の徹底やソーシャルディスタンス等の対策が必要となり、市民センターの利用制限、諸事業の延期や中止を余儀なくされ、地域の皆様には大変ご不便をおかけしております。

そのような中であって、市民センターは地域防災活動の拠点に位置付けされており、地震や水害等の災害時避難所として住民の会や学校等と連携してまいります。

また、コロナ禍が早く収束し、地域コミュニティや生涯学習活動の場として、以前のような生活が送れるよう期待しております。

今後とも、市民センターの運営に皆様の御支援・御協力をよろしく願いたします。(記)センター長・高岡

## 永年勤続町内会長賞

### 自治会長ほう賞受賞者

10年勤続

馬場東 A

寺門 和夫様

台四区の三

人見 幸様

台渡里一区親和会

加藤 勲様

おめでとうございます。

## 令和2年度 渡里地区共同募金・歳末たすけあい募金・法人・団体・篤志家募金

### 戸別募金

一、〇一一、六九〇円

### 法人・団体・篤志家募金

四四五、一〇〇円

合計 一、四五六、七九〇円

ご協力ありがとうございました。

## 編集委員

寺門 和夫(副会長総務広報担当)

(部)保科 貞雄

(副)塙 晴美・小泉 弘美

・篠原 和美